

長崎鼻 長崎鼻リゾートキャンプ場

風光明媚な長崎鼻リゾートキャンプ場は、国東半島の先端近くに位置し、周防灘に面しています。訪問者は視界がよい日にはキャンプ場から近くの姫島、中国の島々を見ることができます。天気の良い日には、豊後高田中心街からリゾートへと海沿いをドライブするとさらに美しい景色が楽しめます。

長崎鼻リゾートキャンプ場は人工ビーチ、季節の花の展示、アートのインスタレーション、その他の海辺のアクティビティなど、年間通じて訪れる観光客のための数多くの観光スポットやアクティビティが自慢です。春には約 2200 万本の菜の花が長崎鼻の野原を黄色い海へと変え、夏にはそして約 140 万本の見事なヒマワリが咲きます。敷地内のレストランでは、地元の花から作られた様々な食用油製品を食事やショッピングで楽しんだりしながら、海の景色を眺めることができます。

リゾートには、オノ・ヨーコや韓国人グラフィックデザイナー、チェ・ジョンファなど国内外のアーティストによる注目すべきインスタレーションが数多く展示されています。両名とも、2014 国東半島芸術祭の会場のひとつであった長崎鼻でその作品がフィーチャーされました。他の多くのアートインスタレーションが芸術祭の翌年以降キャンプ場に追加されました。

リゾートではコテージ、バンガロー、ログハウス、テントサイトなど様々な宿泊施設を提供しています。またバーベキュー施設も利用できます。ビーチ近くのトレーラーハウスでは、スタンドアップパドルボードなどのウォーターアクティビティのレンタルも簡単に利用できます。

エリアでも最高の景色のいくつかを楽しむためには、長崎鼻の最も遠くのポイントに向かいます。特に日没時の海のパノラマの景色は、足を運ぶ価値が十二分にあります。もう一つ訪れる価値のあるスポットは、馬の背を連想させる独特の形のためにウマノセとして知られる陸続きの岩礁です。干潮時には、足を濡らすことなく島まで直接歩くことができます。

長崎鼻のもう一つの著名なスポットは、ギョウジャドウケツ（行者洞窟）は、海水が岬の地形をゆっくりと侵食することで形成されました。岬の約 20 の洞窟のうち最大であるギョウジャドウケツは、修行のための場としても使用され、大分県の天然記念物に指定されています。